

公益社団法人日本プロテニス協会 ソーシャルメディア (Twitter・Facebook等) ガイドライン



2018/11/21

ソーシャルメディアとは？

ブログ、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、電子掲示板、ホームページ等を代表として、インターネットを通じて個人が不特定多数（または特定多数）に情報発信可能とするメディア全般を「ソーシャルメディア」と定義します。

ソーシャルメディアへの参加に当たっての心構え

インターネットへ発信した情報は、不特定多数の利用者がアクセス可能であり、リンク、シェア、転送等により加速度的に情報が広まる可能性があること、一度投稿した情報は完全に削除する事が出来ないことを常に意識する事が重要です。また個人の見解としての投稿であっても、情報の受け手は必ずしも同じ認識とは限らず、意図せぬ誤解を招き、トラブルを引き起こすリスクを考えましょう。

情報を積極的に活用！！

ソーシャルメディア上で発見された、有益な情報、またリスクについては、速やかに内容を確認し、積極的に共有していきましょう。情報を適切に扱えば、ソーシャルメディアは大きな役割を果たすツールです。時代の流れを敏感に感じ取りながら、リスクヘッジをしっかりと行った上で活用していきましょう。

ソーシャルメディア参加心得

＜自覚・責任・誠実＞

ソーシャルメディアを利用して情報発信を行う場合は、JPTA会員及び関係者であることの自覚を持ち、誠実な言動を心がけましょう。

＜発信者の立場を明示＞

JPTAに関する情報発信を行う場合は、関係を明示しておこない、意見、見解等を発信する場合は、JPTAを代表するものではない旨を明示して下さい。

＜第三者の権利を侵害しない＞

ソーシャルメディアを利用して情報発信を行う場合、基本的な人権、肖像権、プライバシー権、著作権等に関して十分留意し、第三者の権利侵害を行ってははいけません。第三者の発信内容・記事等を引用する場合は、その出所及び引用部分が分かるように明示して下さい。

＜JPTA外秘情報、お客様情報公開禁止＞

機密保持義務があります。機密情報、JPTA外秘情報を絶対に公開しないこと。またお客様情報（取引先企業、会員様等）についても、お客様の許可なく情報を公開してはいけません。

＜投稿内容は慎重に、論議に注意！＞

ソーシャルメディア上では匿名性は決して保証されません。ネット上の過去の投稿履歴等から簡単に本人が特定されます。投稿した情報は全て社会に公開される可能性があります。発信前に内容を確認するとともに、もし発信内容に誤りがあった場合には速やかに訂正し、公表しましょう。また発信した内容についてソーシャルメディア上で批判や論議が起こった場合、決して感情的にならず、冷静に建設的な論議を心がけましょう。